

岐阜県の プラスチック

平成6年のプラスチック製造出荷額は3千億円を割る
岐阜市で中小企業団体の全国大会が開かれる
「味フェスタ」にプラスチック業界も参加
工業組合の欧州視察団が視察を終わって帰国
技能検定の合格者1級4人、2級33人にのぼり過去最高
デザインの心
組合員の工場訪問
事務局だより

飛騨で「味フェスタ」開く。プラスチック業界も協賛し参加



製品出荷額 3 千億円を割る

プラスチック業界も不況の余波

平成 6 年実績 業界別の構成比は上昇

平成 6 年の岐阜県内プラスチック製品製造業は、前年に続いて事業所数、製造出荷額、付加価値額などの生産実績を下げ、バブル不況と円高の根深さを現わした。

岐阜県がまとめた『平成 6 年の工業統計調査』によると、事業所数が 8 6 5 カ所、その従業者数は 1 万 2, 7 2 1 人、製造品出荷額は 2, 9 7 2 億 2, 8 0 0 万円だった。出荷額は前年より 2. 6 % 減少して 2 年続きのダウン、しかも 3 千億円の大台を割った。この後退は岐阜県産業全体の傾向であるが、プラスチック産業は減少幅を最小限に食い止めている。したがって県内産業の業種別構成比は 5. 5 % から 5. 7 % へと上昇し、岐阜県の主力産業としてゆるぎない基盤を持っていることに変わりない。

事業所の数は減少 従業員は逆に増加

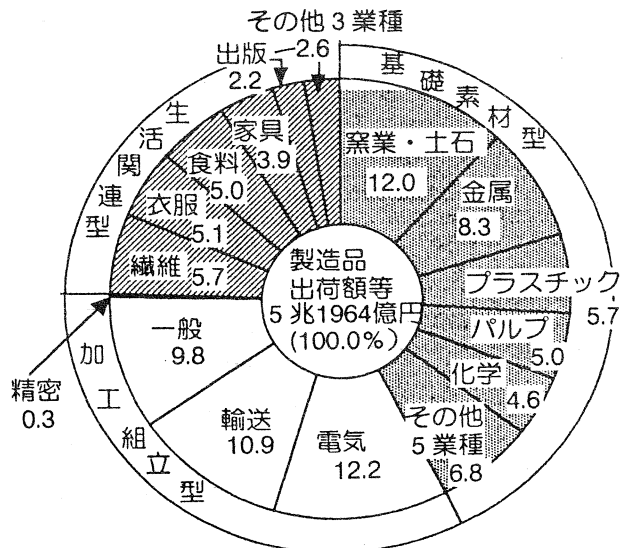
まとまった工業統計調査は最新の数字で、平成 5 年にプラスチック業界が記録した実績と比較すると。

事業所総数の 8 6 5 事業所は、前年に比べて 1 5 事業所の減少となった。県全体では繊維・衣服、金属、窯業・土石をはじめとする地場産業の多くが 5 % 以上も減少（県全体で 1, 0 7 9 事業所が減少し、平均では 4. 3 % も減少）したのに対し、プラスチック業界の事業所は、1. 3 % の減少にとどまった。

この事業所に働く従業者数は 1 万 2, 7 2 1 人で、前年に比べて 2 7 8 人、2. 2 % 増加した。生産施設の縮小や事業所の転廃業があったものの、一方では工場増設や新施設の稼働により従業員が増えたものとみられる。

県全体の従業者数は 1 万 3 7 1 人、3. 7 %

製造品出荷額の業種別構成比



減少した。海外進出などで空洞化のめだつ繊維や衣服、転廃業がめだつた窯業・土石や金属関連で大きく減少した。従業者が増えたのはプラスチックと鉄鋼業の 2 業種だけ。

プラスチック業界の平成 6 年の製造品総出荷額 2, 9 7 2 億 2, 8 0 0 万円は、前年比で実に

2.6%の減少、金額では78億3,300万円のダウン。前年調査では221億円減少していることからみれば小幅にとどまった。

付加価値額は平均を大きく上回る

県内地場産業は、輸送用機器、衣服・繊維、窯業・土石など軒並みに減少し、平成3年に始まったバブル不況と円高影響をもろに受けた。出荷額が増えたのは飲料・飼料と化学工業。

岐阜県下の全工業出荷額は5兆1,963億

8,800万円、前年比で5.7%の減少。一方、プラスチック業界の出荷額減少は小幅にとどまったこともあって業種別構成比はやや上げ5.7%となった。

また、プラスチック業界の生産加工能力を示す付加価値額は1,122億9,900万円で前年より2.2%下げた。しかし、従業員1人当たりの付加価値生産額は、いぜん軽工業部門トップの882万円で、県産業総平均の787万円を大きく上回る生産性を記録した。

岐阜で中小企業団体の全国大会開く

施策の拡充や景気対策などを国等に訴える

『夢そだて 創意で結ぶ 新世紀』を大会テーマとする第47回中小企業団体全国大会が、10月12日午後、岐阜市長良の岐阜メモリアルセンターで開かれた。全国各都道府県から集まった中小企業団体の代表は約5千人にのぼり、当工業組合からも日比副理事長ら5人が参加した。また、大会前日には組合青年部全国交流会が開かれ、当組合青年部から長谷相談役が参加、各県から集った青年部代表と交流を深めた。中小企業団体の全国大会は、毎年秋に各都道府県が持ち回りで開催、中部通産局管内では15年ぶりに行われた。大会は主催した井上孝二岐阜県中央会会長が「中小企業団体の代表が一堂に会し、未来への夢を大きく膨らませ、語り合いたい」と歓迎のあいさつ。また、井上光一全国中央会会長が「今年は中央会創立40周年の記念すべき年、これを機に組合組織を基盤に中小企業活動を一層高めたい」とあいさつした。

大会議案の審議は「景気対策の強力な実施」「中小企業対策予算の大幅増額」「労働時間の猶予措置の延長」など17項目を上程、意見交換し、議決した。議事の最後は大会宣言で「中小企業

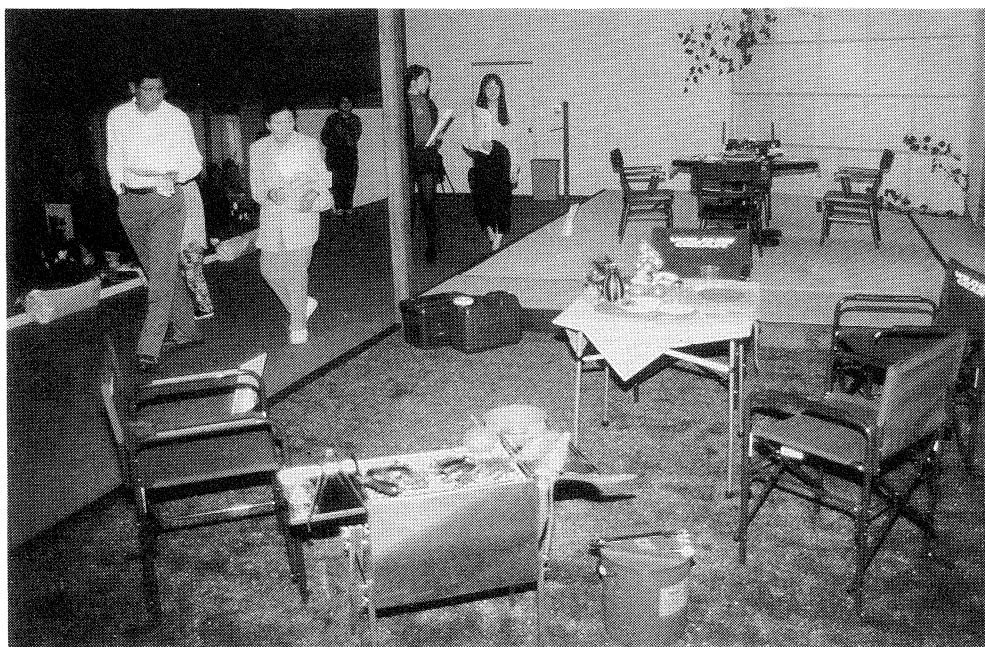


で愛ドームに集まった中小企業の代表

は産業の活力の源泉、かつ、地域経済の担い手である。したがって中小企業の力強い活動は不可欠であり、協同の理念のもとに組織の活性化を図り、中小企業の新たなフロンティアを開拓することを期する」の宣言文を大拍手で採択した。

「食と健康と祭り」テーマに交流

飛騨で味フェスタ・工業組合も協賛し参加

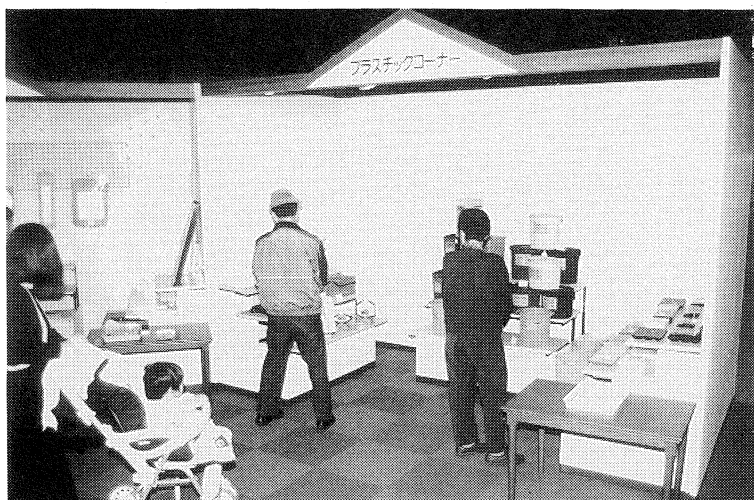


高山で地場産物が競演した食空間で彩る産業展

プラ業界から 食文化へ提案

【味フェスタ'95ぎふ】（第5回全国食文化交流プラザ）が10月8日から8日間、高山と下呂の2主会場に飛騨・益田の町村をサテライト会場として華やかに開かれた。

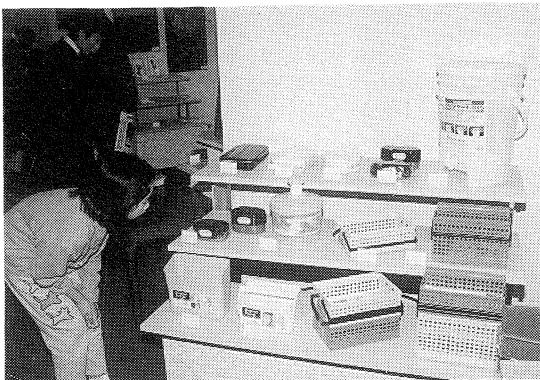
プラスチック製食器など食卓用品を生産する当工業組合もこれに協賛、組合員が出展し、新しい食文化づくりへプラスチック業界なりの提案を行った。



新しい食文化づくりへプラスチック業界なりの提案を行う

味フェスタは農林水産省が提唱、各都道府県が持ち回りで開催し岐阜県で5回目。岐阜県の開催趣旨は「食と健康」「食と祭り」をテーマ

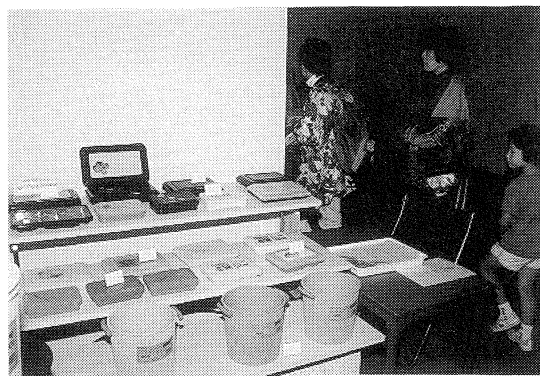
岐阜プラの食卓用品



八幡化成のウェイビー



大垣プラのプレート



に、飛騨と美濃の生活や伝統文化を紹介する中で新しい食文化を提案し、全国へ食に関する情報を発信、好評を博した。

プラ業界から3社が食関連で提案

会場は高山市民文化会館を「食と祭り与交流のゾーン」に、飛騨体育館を「飛騨と美濃の食ゾーン」として、また下呂観光会館は「食と健

康のゾーン」さらに益田、飛騨の町村にもサテライト会場を設け「食文化」をテーマに各種のイベントを行った。

工業組合が参加したのは飛騨体育館と高山市民文化会館の会場。

飛騨体育館では飛騨と美濃の食の歴史、その中で育まれてきた食に関する産業として紹介された。その「プラスチックコーナー」に出品した製品は、岐阜プラスチック工業(株)が12アイテムの食卓用品、八幡化成(株)がグッドデザイン商品に選定されたウェイビー厨房用品の6アイテム、さらに大垣プラスチック工業(株)は給食用のプレートなど6アイテム。いずれも洗練されたデザインと機能を持ち、食空間を彩る厨房・食卓用品ばかりであった。

展示製品の即売も行う

食関連の業種別コーナーとは別にステージでは、県内7大産業の食に関する製品ばかりを活用したモデルキッチン、モデルリビングルームがレイアウトされ、当工業組合からは八幡化成のウェイビー、大垣プラスチック工業の三つ仕切り皿、岐阜プラスチック工業のキャンプセットを提供、食関連産業としての役割を果たした。

各産業界が出品した食関連製品に、参観者から「岐阜県でこんなに多くの食関連製品がつけられるとは思わなかった」と大好評を博した。このため主催した食文化交流プラザ事業実行委員会は、参観者の希望商品をまとめ市価の2～3割引で販売した。高山市民会館では「食と祭り」をテーマに内外の料理を紹介、また「楽市楽座」を特設、内外の産品を展示・即売した。

世界最大の「K」などを視察

大松理事長らが欧州視察を経て帰国

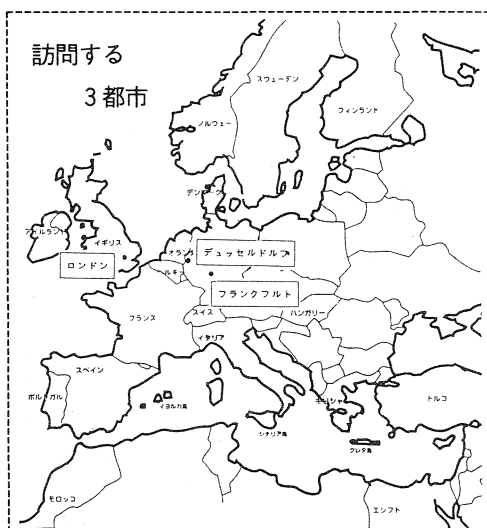
岐阜県プラスチック工業組合はかねて『欧州産業視察団』の派遣を計画していたが、10月5日名古屋空港を出発し、8泊10日間にわたりドイツのデュッセルドルフ→フランクフルト→さらにイギリスのロンドンを経て帰国した。視察団は理事長の大松利幸氏を団長とする10人で編成して出発、とくにデュッセルドルフでは、世界最大のプラスチック関連見本市『K'95国際プラスチック・ゴム専門見本市』をはじめ欧州のプラスチック業界と関連産業を視察するなど、多くの成果を得て帰国した。視察成果は近くまとめ、会報・岐阜県のプラスチック新年号で組合員に報告する予定である。

独、英のプラ工場も視察し懇談

この欧州産業視察を企画したのは、工業組合理事会と野村ツーリストビュロー名古屋支店で今春以来、現地と視察スケジュールを折衝し、実現した。

視察団一行は、前半3日間にわたってデュッセルドルフで開催中の『K'95国際プラスチック・ゴム専門見本市』を専門通訳同行のもとに視察した。後半はフランクフル트에宿泊し、プラスチックの成形、金型、材料メーカーを訪問し、施設を見学したあと関係者と懇談、世界的水準にあるドイツのプラスチック工業の現況と将来方向を把握した。最後はロンドンに滞在し三菱シケミカルの吉村社長、ジェトロ石油化学工業協会ロンドン事務所の多喜田圭二氏らと懇談、ヨーロッパの経済事情やプラスチック産業の動向をつぶさに聞いた。

欧州視察から無事帰国した大松理事長は「渡欧の主目的Kは、世界最大のプラスチック見本市だけあって規模、内容ともにすばらしく、おりからのヨーロッパ経済の回復基調を背景に大盛況だった。さらに、ドイツの工場施設を見学また関係者と懇談したが、プラスチック産業の広がりや将来展望に心強いものを感じた」と欧



州視察の感想を話した。

なお、欧州視察団参加者は次の各氏。

- 大松利幸・岐阜プラスチック工業(株)取締役社長
- 林貢一郎・岐阜産研工業(株)代表取締役
- 武藤幸平・(株)武藤化成工業所代表取締役
- 川瀬忠雄・(株)川瀬樹脂工業部長
- 澤田佳辰・岐阜プラスチック工業(株)開発部長
- 西村栄治・岐阜プラスチック工業(株)主任研究員
- 松岡順一・コダマ樹脂工業(株)本社工場長
- 清水昭治・コダマ樹脂工業(株)品質管理課長
- 森 正信・(株)武藤化成工業所金型主任
- 竹内安之・工業組合事務局長

合格者は1級4人、2級33人

技能検定は好成績、関係者の努力実る

平成7年度のプラスチック射出成形技能検定は実技、学科とも検定試験を終わり、10月5日に合格者発表が行われた。その結果は検定始まって以来の好成績で、1級が4人、2級は33人という大量合格者を出した。3日間にわたった特別講習会の実施、検定機種を更新、検定会場の整備、さらには受検者の意識向上と関係者の努力が実ったものといえる。

新年互礼会の席上で証書を伝達

今年度の検定は1級、2級合わせ、49人が受検し、37人が合格、その合格率は実に75%にもなった。好成績だった昨年度（合格率35%）を倍増する記録的な好成績。また、非組合員を含めた全県の合格率は64%。合格率が良かった理由は①1級合格者がかつてない4人も出た②2級で実技と学科の両方を受け、同時に合格した人が13人もあった③昨年度は学科の試験方式改正で多くの学科合格者を出したが、こうした人たちが今年度の実技合格で検定合格者となった一などで、その背景には学科試験方法の改正と実技試験会場の整備をあげることができる。

検定合格者の証書伝達式は、新春1月に予定する新年互礼会の席上で行う。次は今年度の技能検定合格者。

《1級合格者》

飯島 招男（岐阜プラスチック工業㈱）

足立 弘之（岐阜プラスチック工業㈱）

佐藤 正（真正工業）

小森 秀彦（岐阜プラスチック工業㈱）

《2級合格者》

古橋 孝男（ムトー精工㈱）

田中 清（ムトー精工㈱）

木村 邦彦（ムトー精工㈱）

鈴木 利春（㈱武藤化成工業所）

幅 武（㈱武藤化成工業所）

池田 秀幸（岐阜プラスチック工業㈱）

鳥本 宏一（岐阜プラスチック工業㈱）

加藤 一成（岐阜プラスチック工業㈱）

野田 新吾（岐阜プラスチック工業㈱）

岩田 竜之（岐阜プラスチック工業㈱）

佐藤 賢一（岐阜プラスチック工業㈱）

三島 正行（岐阜プラスチック工業㈱）

佐久間 強（岐阜プラスチック工業㈱）

篠田 高弘（岐阜技研ポリマー）

篠田 治（岐阜技研ポリマー）

辻 有記臣（三光合成）

河野 芳生（三光合成）

田中 繁樹（ムトー精工㈱）

井田 嘉隆（ムトー精工㈱）

脇田 清彦（ムトー精工㈱）

柚留木文彦（大栄工業㈱）

向後 信男（㈱中部合成）

西部 浩申（㈱武藤化成工業所）

渡辺 正喜（アイゼン）

堀 洋彰（岐阜プラスチック工業㈱）

瀬瀬 孝義（岐阜プラスチック工業㈱）

伊藤 圭介（岐阜プラスチック工業㈱）

八代 幸路（岐阜プラスチック工業㈱）

堀江 隆広（岐阜プラスチック工業㈱）

福丸 武（岐阜プラスチック工業㈱）

吉田 博（岐阜プラスチック工業㈱）

高橋 正治（岐阜プラスチック工業㈱）

水池 孝夫（岐阜プラスチック工業㈱）

組合青年部研修会 豊橋の工場を見学

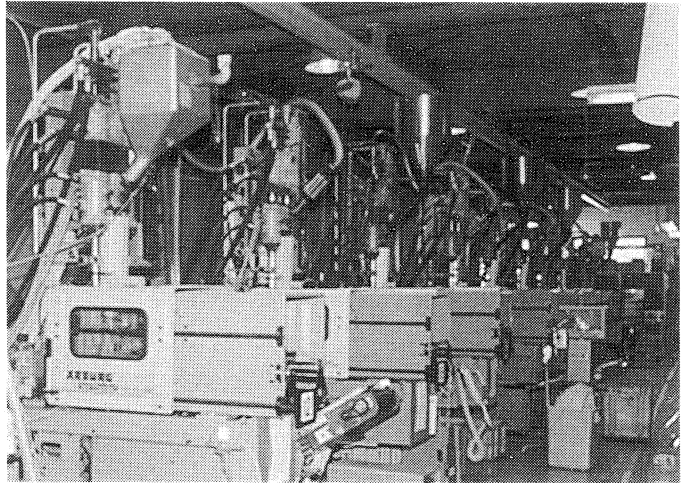
工業組合の青年部は、7月研修会として7月21日、工場見学会を行った。参加者は川瀬忠雄部長ら10人で愛知県豊橋市小向町にある(株)樹研工業を見学した。

見学した会社は昭和40年にエンブラによる少数個取りの精密小型成形部品を中心に事業展開を開始した企業。昭和57年には自社用に開発していた射出成形機の開発部門を独立させ、ジュケンマシンワースを設立。続いてジュケンファインツールを設立し、長耐久性の精密金型の設計・開発・製作を行うなど、エンブラ精密部品の金型・成形機から製品まで一貫生産体制を整えた会社である。

工場施設を見学した青年部員は、時計、カメラや電子部品に使用される外径1.1mmの平歯車、外径0.498mmというピニオン車、薄さ0.15mmのインシュレーターなどミクロン単位の成形部品の生産には驚かされた。

説明に当たったジュケンの技術者は「現在の成形方法の主流は多数個取り。これは基本的には成形品にバラツキが生じ、精密部品の成形には適さない。ジュケンでは創業以来少数個取り(1~2個)の利点に着目、成形機と精密金型をすべて内製化し、超精密部品を生産する一方

少数個取りの超精密工場



ジュケンの精密成形工場内部



白糸の滝で青年部員が記念撮影

で、少数個取り生産方式のノウハウを蓄積してきた」と誇っていた。

9月行事は親睦研修旅行を行う

組合青年部は9月行事として、9月3日から2日間、秋の親睦研修旅行を行った。参加者は川瀬忠雄部長ら12人で、コースは富士山麓を横切り山梨に至る東名と中央道一周旅行。この間白糸の滝、富岳風穴、忍野八景など自然の風景にひたり河口湖では全員揃って親睦を深めた。

廃プラの種類を瞬時に識別する

工業技術院の物質工学工業技術研究所と富士通、東亜電波工業の共同研究グループは、このほど『廃プラスチックの識別システム』を開発した。人間の脳の働きをまねたニューラルネットワーク（神経回路）を活用して微妙な成分の違いを分析し、飲料用ペットボトルに使われるポリエチレンテレフタレート、ポリスチレンなどなど透明容器に使う5種類のプラスチックを一秒以内に判別するのに成功したもの。

原理は「近赤外線を当てた時の反射パターンをニューラルネットワークに学習させ、識別能力を持たせた」ことで、分別収集が難しいといわれる廃プラスチックのリサイクル促進に役たちそう。

再利用できる強化プラスチック

大阪市立工業研究所は、繰り返し再利用できる強化プラスチックの製造技術を開発した。プラスチックの強度を高める強化材に、液晶ポリマーを使用するのが特徴で、実験では5回再利用してもプラスチックの強度は変化しないという好結果を得た。

新技術はガラス繊維の代わりにポリエステル系の液晶ポリマーを使ったもので「プラスチッ

ク材料に液晶ポリマーを混ぜてセ氏280度で溶かし、冷えると分子が一定の方向に並び、繊維化する」ので強度が増す仕組み。

同研究所では「この新技術を使えば、浄化槽や家電製品などリサイクルが難しく、廃棄が問題になっているプラスチック製品の再利用が可能になる」と話している。

優遇税制でリサイクルを後押し

通産省はプラスチック容器などの容器包装ごみを再利用する「包装ごみリサイクル法」が2年後に施行されるのに伴い、リサイクルを促進するための税制面での支援措置を新年度から導入する方針でいる。

容器メーカー、飲料などの中身メーカー、廃棄物の再処理をする再商品化事業者を対象に①容器メーカーを対象にしたリサイクル製品の購入促進税制②中身メーカー向けの損金算入の特例措置③再商品化事業者に対する事業所税の非課税措置ーを受けられるようにするのが主な内容である。

中身メーカー向けの損金算入の特例措置は、包装ごみリサイクル法で回収義務を負うことになったことを受けての措置。また、中身メーカーが集まってリサイクルの公益法人を設立するが、その出資金も損金算入できるといふ。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン
ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (千100)

デザインの心ー3

『地域に係わる素材』

岐阜県プラスチックデザイン協会

“やきもので音楽を演奏する。自由な発想にもとづいたオリジナルなオブジェ、それを制作者自らが演奏する。あるいは水や風に演奏させる。こんな楽しい空間は実現できないだろうか。…”

やきものに携わる地元の若いデザイナー、陶芸家、そして市民、音楽家等が20数名集う異能異才？交流の末に生まれた草の根夢活動であり、多治見市で3年に一度開催される国際陶磁器フェスティバルを主たる機会に、実験的デザインと、暮らしと地域と産業を意識して取り組んでいる。

今回は、10月28日から11月5日にかけて開催されるフェスティバルの協賛催事として過日、多治見市文化会館をステージに作品展示（音のオブジェ）とそれを使ったコンサートを催した。やきものの素材である“土”の意味について考える『土の記憶』をテーマに、土を糧にする美濃焼の街と産地びとに対してメッセージを送ったものである。

“土の音のメッセージ”、それは本来土であるやきものの真の姿を、現在の産地製品（皿鉢・徳利・碗・タイル・瓦など…）を設え制作した音のオブジェと美濃焼の音に託し問い直したものであり、古代より土（大地・自然…）の恩恵に浴し暮らしを形成してきた人間にとっての存在の大きさと、個々人に眠る母なる土の記憶を呼び覚ますことを意図としている。

この土の記憶を呼び起こすことー他素材製品との差別化を図り、素材の特性を活かし、消費者に支持を受ける良き陶磁器製品開発につながるものであることをメッセージしたものである。

産地に係るクリエイターたちのこの取組は、名古屋市で催された世界デザイン博をスタート

にしている。当初は、日常業務を離れて自由な感性発揮の場を求めるデザイナーや陶芸家、そして新しい音の素材を求める音楽家の間で持ち上がった活動であり、一つの目新しいパフォーマンスとして世に注目を浴びた経緯を持つ。

以後、美濃焼産地を始め、土を素材にする全国のいくつかの産地では、このパフォーマンスが取り入れられ、奏でる音色の美しさと産地のイメージを連結すべく“土の音楽”演奏が組み込まれ、産地のPRに一役買った。また、陶磁器の街づくりを考えるシンポジウムにも駆り出される等、陶磁器の街に与えたインパクトは大きいものがあつた。

彼等が数多く創作した“音のオブジェ”もさながらとりわけ重要であるのは、陶磁器の街の住民とやきものとの“係わりの提案”いわば“コトのデザイン創作”である。地域住民を対象にした生涯教育の一環である“土の音探し・音あそび”教室の開設、それに端を発した「土の音夢工房」、及び「オカリーナアンサンブル」等の自主グループ結成である。これらの住民参加は、学童保育、地区の児童館やガールスカウトの事業カリキュラムに取り入れられ、結果、高齢者施設など各種の慰問、地域資源（陶磁器）に親しむ学校教育、地域の伝承文芸や障害をもつ人達の詩とのジョイント等など、陶磁器の街に相応しい新たな風景を生み出したことである。

陶磁器の街に住む充実感と喜びのデザイン、地域に係わる素材を見つめ直すこと、街と産業の活力に結び付く大切な手法ではないかと思う。

Y HASEGAWA

孤軍奮闘、住宅密集地帯の成形工場

栗本工業(有)

今回の工場訪問は、岐阜市内の住宅密集地帯にある栗本工業有限会社（岐阜市安良田町4丁目、栗本俊一代表、資本金 300万円）を訪ねた工場は新岐阜駅から斜めに、南東の方向に延びる安良田町通りを約2キロほど進んだ所。というよりも、悪名高きJRと名鉄の竜田町踏切りに挟まれた斜めの通りといえはすぐ分かる。

一帯は、通過する列車と押し寄せる車に取り巻かれ、まるで陸の孤島のようなところが最近JR側の高架化工事が一段と進み、周辺も整備されて交通事情は緩和されつつある。

和傘製造卸→洋品店→プラ成形

安良田町通りにある栗本さんの成形工場は、表が商店風で、奥まった裏庭にある。戦前「父親が和傘の製造卸をしていたころの傘干し場に工場を建てた」という。栗本さん自身も、戦後この店舗を活用して洋品店を経営していた。

プラスチックとの係わりを聞くと「昭和45年



住宅密集地の工場だけに防音・防振対策を行った成形工場

でしたか、合成樹脂の会社へ通っていた婿（正樹さん）が、交通事故で身体を悪くしたのを機に、持ち前の技術を生かし、この裏庭でプラスチック成形を始めたのがきっかけ」と話す。当時はまだコンプレッションの時代。縦型の成形機4台を買い入れ、メラミン樹脂などで自動車ギヤのノブなどを成形した。

防音、防振工事をした成形工場

成形工場が軌道に乗り始めると、人手が足りずに一家総出。ついに栗本さんは洋品店をたたみ、成形工場の経営へ転進した。今日まで受注した製品は、自動車や電工用の部品から日用雑貨品にいたるまで数限りないが、一貫してきたことは硬化性樹脂による成形。

栗本さんは「硬化性樹脂は精度を出したり、機械の維持管理が難しく、大半の工場は可塑性樹脂へ移っていった。このため近年は、希少価値が生じ、硬化性樹脂の問い合わせが目立っている」と、硬化性樹脂に将来を託す。

現在、工場には開業当時からのコンプレッションのほかに、硬化性のインジェクション3台と可塑性インジェクション1台が並ぶ。栗本さんはこの工場を建てるのに苦労したという。住宅密集地にあるからで「振動防止への基礎工事、防音壁の取り付けや電波障害の防止対策などと試行錯誤を重ねて理解してもらった。硬化性樹脂に取り組み25年、住宅密集地の工場として孤軍奮闘しています」と、話を結ぶ。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□大震災救援で県知事から感謝状□

工業組合は「阪神・淡路大震災に迅速かつ自主的な救援活動を行った」として梶原岐阜県知事から感謝状を受けた。表彰式は7月3日、岐阜県県庁で行われ、各受賞団体や関係者と共に表彰された。

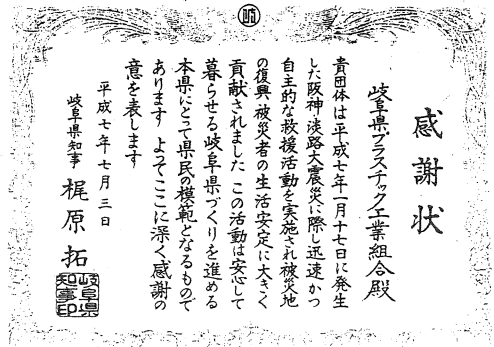
工業組合の大震災救援活動は新年互礼会の席上で義援金募集を行ったり、また、組合員企業がプラスチック製品などの救援物資を贈ったもの。右上は岐阜県知事からの感謝状。

□中小企業PL保険制度紹介と案内□

組合員各位に『中小企業PL保険制度』のご案内をしましたが、7月1日にPL法が施行され、各企業におかれても対策をとられているものと思います。その対策と並行して、万一のアクシデントに備えた『中小企業PL保険制度』の導入を検討してみてください。

ご紹介しました制度は、中小企業庁の指導のもとに全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、日本商工会議所の商工3団体が『中小企業製造物責任制度対策協議会』を組織して開発した商品です。

第一回の紹介で9組合員がPL保険に加入さ



れましたが、今後、PL保険を必要とされる企業は組合事務局へご連絡ください。組合が指定する保険会社から説明にいらいます。

□時短奨励金を受ける方は監督署へ□

中小企業の時短奨励金制度が改正①小規模事業場における投資額が300万円から150万円に緩和②40時間を達成した事業主には25万円から75万円上乘せーするなど利用し易くなりました。

岐阜県のプラスチック 1995 125号

平成7年10月20日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン
スミカセン[®]
 エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
エバテート[®]
 ポリプロピレン
住友ノーブレン[®]
 ポリスチレン樹脂
エスブライト

塩化ビニル樹脂
スミリット[®]
 メタアクリルシート
スミペックス[®]
 メタアクリル樹脂
スミペックス-B[®]
 高密度ポリエチレン
スミカセンハード

熱可塑性エラストマー
住友TPE
 合成ゴムSBR
住友SBR
 合成ゴムEPR
エスブレン[®]
 エチレン酢酸ビニル
 塩化ビニル共重合樹脂
スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
 電話 <052> 201-7571

出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GFPET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルブ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

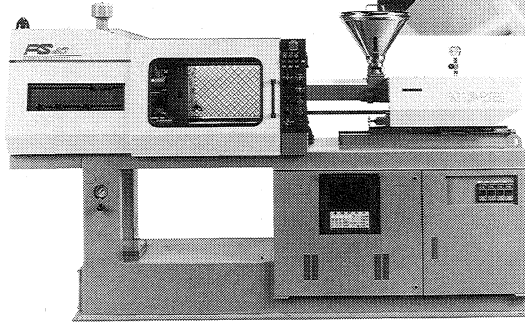
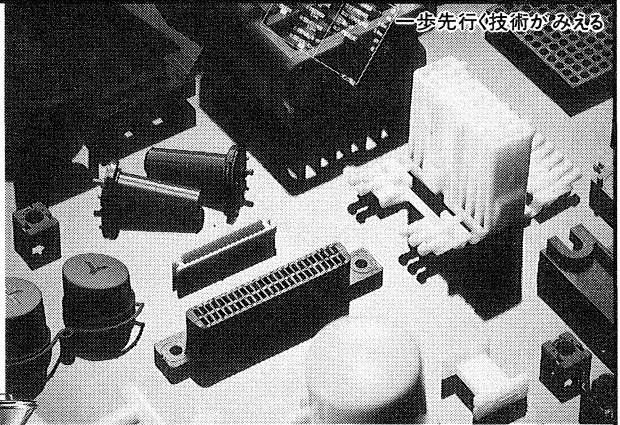
P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

一歩先行く技術がみえる

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクノカルセンター/本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所/全国11ヶ所 ●出張所/全国20ヶ所 ●海外サービスステーション/28ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

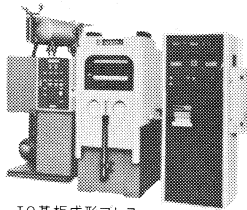
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



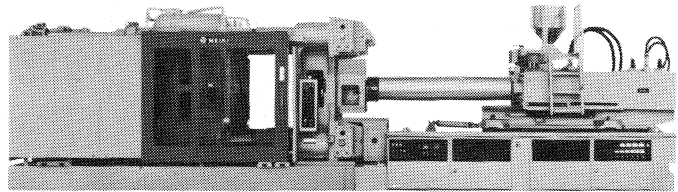
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎(0562)48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は…

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

【ツナグシヨウ
コウコウタクヨウ】

タイコウセイジュシ

JSR AES

チヨウタイネツジュシ

JSR XT

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

PVCキョウカヨウジュシ

JSR MBS

フクゴウガタタイネツジュシ

JSR EXCELLOY

ドウデンセイジュシ

JSR CONDUCTOR

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

ブラジエンジュシ

JSR TR

ネツカンセイエラストマー

JSR SIS

ネツカンセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

コウキノウポリマーアロイ

MAXLOY

DYNA FLEX

LINK FLEX

エラストマーケイフクゴウザイ

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店 ☎(06) 203-0041

名古屋支店 ☎(052)571-1231

広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

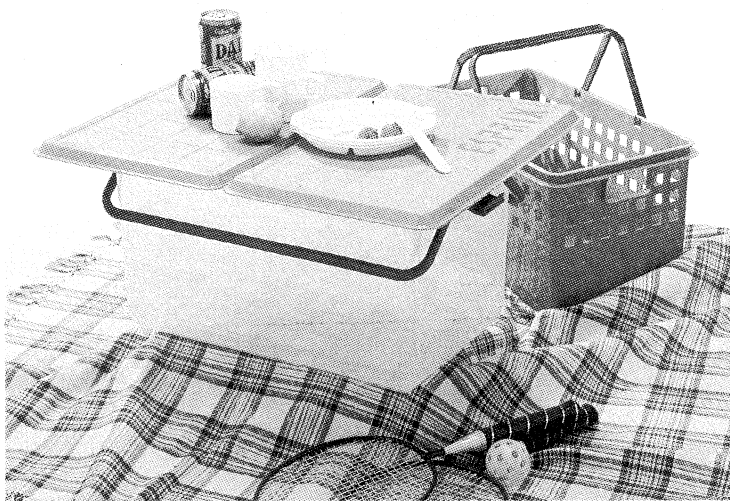
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地（大岐阜ビル6階）
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- 東北リス(株)
- 四国リス(株)
- リスバック(株)
- 東京リス(株)
- 九州リス(株)
- リス(株)
- 大阪リス(株)
- リスエンジニアリング(株)